

# 新しい「ふるさと」の在り方～ゆるい関係性ができる場～

チーム「Are You?」(鮎)～あなたは、どう生きていきたいですか?～

多田 路央(九州財務局) 山内 美紀(tent) 山本 俊一郎(熊本市役所)

## 1 「ふるさと」とは

インタビューの結果



- ・実家
  - ・生まれ育ったところ
  - ・幸せに楽しく暮らしていたところ
  - ・子どもたちと過ごした場所
  - ・なんとなく戻ってきたい場所
  - ・ママがいるところ
  - ・支えてくれる人がいる場所
  - ・友達が帰ってくれば集まれる場所
  - ・なんとなく思い出がなつかしくほっとする場所
  - ・心のよりどころ
  - ・心のすきまを埋めてくれるところ
- など

## 2 現状と課題

- ・生活形態の多様化による少子高齢化による人口減
- ・地震など災害による人口の流出のため担い手・働き手が不足。
- ・経済環境の変化、雇用機会の不足、財源の流出



「限界集落」・「消滅可能性都市」など、「ふるさと」が消滅の危機に!!



大切なふるさとを守り続けるよう  
に行動することが、私たちの責務

## 3 具体的な取り組み

### 「MWターン」という施策の提案

「もっとワクワクターン」の意味。  
「MW」の文字の下部が、「居住地」、上部が「地域(ふるさと)」というイメージ。  
地域(ふるさと)と「居住地」を往復し、継続して繰り返し訪れることにより、次第にゆるい関係性ができる場が構築される。

### 「MWターン」イメージ図



### ★まとめ★

地域(ふるさと)の人たちは、自分たちの地域に誇りを持ち、子どもたちが帰って来たいように風土を整え育てる。関係する人たちに対しては、また再度訪れたい、あの人に逢いたいと思わせるような出逢い、人間関係の場が構築出来るような取り組みおよび、そこに行くことによってしか経験出来ない、味わえない特異な取り組みを行う。自主的に知識・技術の修得、および楽しい経験出来るボランティア的ふるさと納税活動、すなわち思い・愛があり、お金ではない一緒に汗をかく労力の奉仕活動により、ゆるい関係性ができる場(新たな地域コミュニティ)が構築されることとなり、その場が「新たなふるさと」と感じられ、移住定住ではない新たなふるさとの在り方が創設される。

また、地域内による生産加工流通消費活動を強くして経済の循環を実現させるほか、住民や地域に関わるあらゆる人が楽しく幸せに暮らせるような仕組みの構築にもつながる。

